

20年後の学校の適正規模・適正配置の方向性（小学校3校、中学校3校） に向けての配慮事項

【方向性を選択した主な理由】

- ・教育の質の向上と適正規模の確保
- ・小中一貫教育の実現性
- ・地域コミュニティの維持

【審議会から出された意見】

- ・子どもたちの学習環境や生活環境への影響を考慮し、段階的な取組の推進をお願いしたい。
- ・集団の中での「豊かな人間性」と「社会性」の育成を通じて、「自他を尊重し合える関係づくり」を進め、子どもたちが安心して過ごせる環境の整備してほしい。
- ・特別支援教育や不登校児童生徒への支援を充実させ、子どもたち一人ひとりに寄り添った対応をお願いしたい。
- ・白岡市の特色を生かした教育については、「図書を生かした教育」を充実させてほしい。新たな特色についても引き続き検討をお願いしたい。
- ・学校施設の整備については、安全性の確保を最優先としてほしい。
- ・学校施設とその他の公共施設（社会教育施設や子育て支援施設など）との複合化・共用化は、市長部局と連携を図りながら、学校を地域の学びや交流などの拠点として活用できるよう検討してほしい。
- ・学校と地域とのつながりや学校が持つ「地域のコミュニティ拠点」や「防災拠点」といった多面的な役割を考慮してほしい。
- ・学区の境界付近にお住まいの方については、通学距離等の事情を踏まえ、隣接する学校を選択できるような柔軟な対応を検討してほしい。
- ・中長期的な視点を持ちつつ、社会情勢や人口動向の変化に合わせ、計画内容の見直しを検討してほしい。
- ・通学距離が伸びる場合は、児童生徒の通学負担が大きくなるため、その課題解決に向けて取組を進めてほしい。
- ・地域住民等に対し、丁寧な説明をお願いしたい。